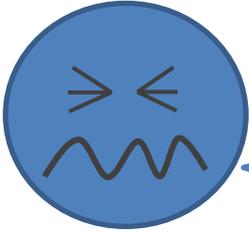


幼児の実態

忘れっぽく、気がそれやすい。一番にこだわり、遅れることを嫌がる。



〈本人の困り感、思い〉

- ・何をするんだっけ？先生が言っていたけど、忘れちゃった。
- ・何時までか分からなくなって間に合わなかった。

☆本人との対話、本人の思い

- ・話を聞いて取り組むが、途中で忘れて他のことをし始める。
- ・遊びを自分でやめられなくなり、次の活動に遅れて、失敗感を味わう。
- ・失敗したくない。遅れたくない。

☆手立て・合理的配慮

【いつでも視認できる環境整備】

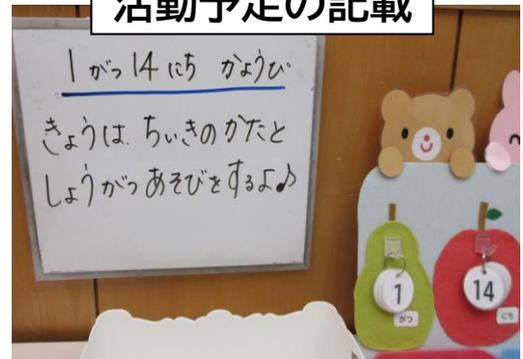
- ・いつも同じ場所に、予定を書いたボードを置く。
- ・予定時刻と現時刻を確認しながら行動できるように時計を上下で配置する。

【成功体験の積み重ね】

- ・時間通りにできたら、大いに褒め、やればできる気持ちを育て、自信をつける。



活動予定の記載



時計の配置の工夫



支援を受けてみて

- ・忘れたら見る。〇分あるから大丈夫。間に合ってよかった。(本人)
- ・分かっているのにできないこと、すねることが減ってきた。(保護者)